

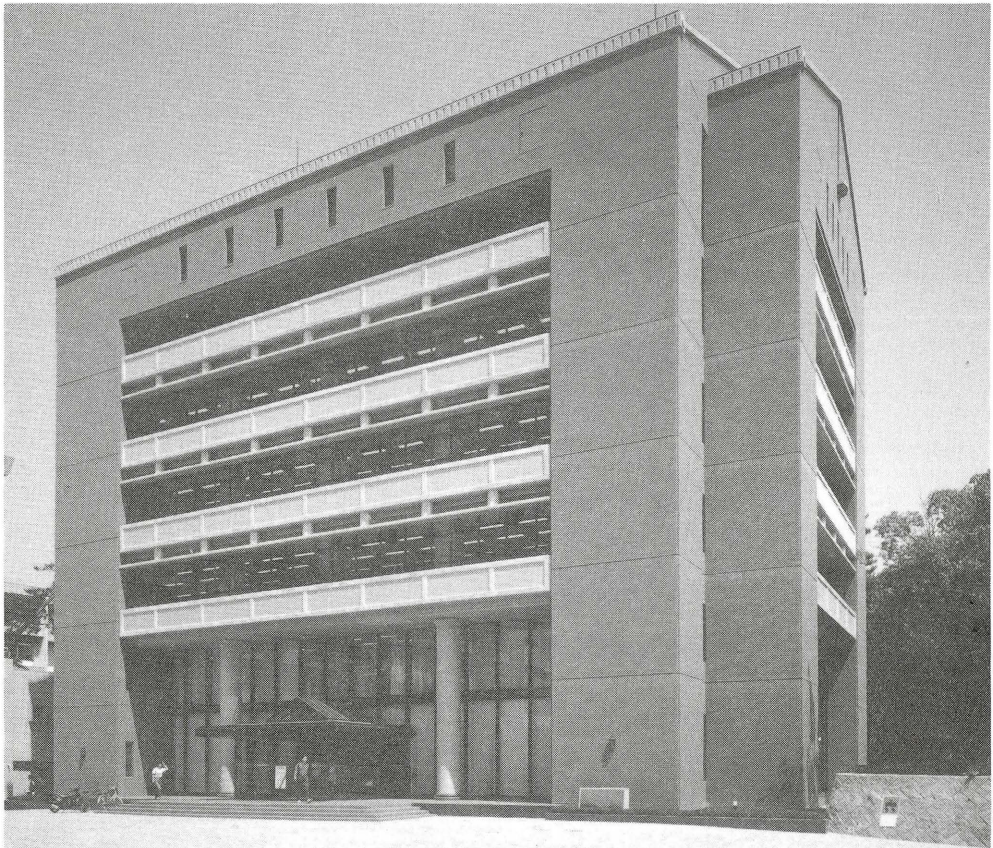


西南学院大学・

図書館報

新築部分

開館記念号



目 次

新しい『知の宝庫』誕生	門田見昌明…2	新図書館の利用案内	……………5
新旧の調和の中で	長 洋一…2	〃	……………6
増改築設計推進の過程で	堤 義男…3	〃	……………7
改造部分も着工へ	鶴 正道…3	図書館の障害	……………8
新図書館の利用案内	……………4		

／ 新 築 部 分 開 館

新しい『知の宝庫』誕生

図書館長 門田見昌明

待望久しかった図書館の新館が、やっとの思いで誕生いたしました。企画・立案から設計・施工に至るまでの、多くの方々のご努力に対しまして、心から感謝申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。この間、多大の不自由と迷惑をおかけしました、教職員・学生その他利用者の皆様方には、深くお詫びを申し上げます。

とは言いまでも、まだ旧館の内外にわたる改装工事がしばらく続きますので、来年春の全館完成までは何かとご不便をおかけすると思います。この段階まで、幸いにして事故らしい事故もなく、予定の計画通りに無事建築・設営が進みましたことは、関係者の方々の並々ならぬご努力の賜物と、あらためて御礼を申し上げる次第です。どうか、最後まで無事に工事が進みますことを、心からお祈りいたします。

設計図の段階では、なかなかイメージがつかめませんでした。できあがった姿を見まして最新技術の素晴らしさ、外観・内装の美しさに見惚れております。しかし、問題はこれからだと思います。新しい図書館が、21世紀の国際化・情報化の格段の伸展に対応して、その機能と役割を十分に発揮することこそ今後の課題だと思います。今大学は、教育と研究の両面にわたって大きな転換期を迎えています。カリキュラムの弾力化、自己点検・自己評価をはじめ、生涯学習社会への対応、量から質への転換など、課題は山積みしております。大きく重い課題ばかりです。どう使いこなしていくか、利用する人々になじんでいただけるか、心をひきしめて新しい課題に取り組みたいと思います。

新旧の調和の中で

前図書館長 長 洋一

図書館増改築委員会の答申に基づき、日建設計に設計の依頼がなされ、平成二年一月から、大学と日建設計との話し合いが始まりました。

旧図書館に新館を増築する時、内部機能の充実を第一としますが、新旧の建物の外観を調和させることも大事です。現在では、国宝建造物となっている東大寺三月堂は、八世紀の建物に十三世紀の礼拝堂が増築され、両者が見事に調和し一体となり、落着いた美しさを見せています。日建設計の担当責任者北島氏は奈良在住と聞きましたので、三月堂の話をし、その調和の美しさを本学図書館の増改築にも求めました。

つぎに、設計の構想を練り上げていく段階で大きな問題となったのは、地下二階地上四階案が地上六階案になったこと、事務室を二階から一階に移したこと、学習室の発展的解消、入退館システムの採用、そして最終段階で、キャンパスの建物配置や人々の動きの線からみて、図書館の玄関は北側ではないかとの提案、などでした。それらについて、いろんな立場からの検討がなされて、施設課の協力を得て図面は完成し、九州建設による着工に至ります。

本学の図書館は、実は十三世紀に造られた元寇防塁の傍にあり、そこはかつて蒙古軍の侵入に備える最前線でした。今、博多湾はアジアに向かう国際友好の最前線の場所となり、防塁の傍の図書館を含む本学は、国際友好を基盤に、多面的な国際化の使命を果たしています。

このようにして胎動し、国境を越えていく情報化社会の中で、大学図書館に求められるものは多くなりますが、今回の増改築は、それに応える一歩でありましょう。

に 当 た っ て

増改築設計推進の過程で

大学事務長 堤 義 男

● 本学院の歴史とともに歩み続けて来た大学図書館が、今大きく変貌しようとしている。

1988年度に始まる大学第6次財政5か年計画の中の重要施策のひとつとして策定せられた図書館増改築計画は、関係者のご理解とご努力によって着実に推進実施され、その第1期工事として増築部分が完成した。

1988年4月、部長会議の中に、「大学図書館増改築委員会」が設置され、当時の川島図書館長を委員長として計画実現に向け活動が開始された。

● 増築場所と改築部分の範囲、構造と増築床面積、内部施設、特に閲覧スペースと書庫スペースの確保、工期、予算等について詳細な検討が行われた。また“百聞は一見に如かず”との意図から、関東、関西の主要大学図書館を見学し、資料の収集を計り、一方、学内においては、計画の概要を公示し、学生、教職員からの意見を集約し、それらを本計画に反映させるなど、基本設計の作成にいたるまでには相当の期間と労力が費やされた。学長に提出された第1次答申の中には、「……その基本構想として、今日の情報化時代に対応した研究、学習のためのサービス機能と管理的諸機能が十分に発揮されるような近代図書館像をめざし、かつ向こう20年間を見越した収蔵能力をもつもの……」とされている。

設計から着工、更には完成に至るまで、紆余曲折を経ながらも、ここに教育研究情報センター的機能をもつ新しい図書館の開館を見たのは望外の喜びとするところである。

(前図書館事務次長)

改造部分も着工へ

図書館事務次長 鶴 正 道

7月30日図書館増築部分及び旧館1階の改造部分の検収を行い、引き渡しを受けました。

増築部分の1階はエントランスホール、受付、AVコーナー、改造部分は事務室、第2参考図書室、館長室、及び会議室等、2階は雑誌閲覧コーナー、3・4階開架閲覧室、5階閉架書庫及び教授閲覧コーナー、6階は2層からなる閉架書庫となっております。

増築部分の総面積は4,968.58㎡となり、これに旧館部分とあわせると総面積は10,643.41㎡、座席数約760席を有する図書館となります。蔵書収書能力も倍増し、約120万冊の書籍が収蔵可能となりました。

8月3日から26日までの間、増築部分の書架組み立て、AV機器の設置及び事務室移転等のため、この間図書館を休館することになり、教職員、学生の皆さんには大変ご不便をおかけいたしました。しかし、まだ旧館部分の改造工事が残っており、図書館利用について、いまだらくご不便をおかけいたしますがご容赦ください。

改造工事は9月1日着工、12月20日完成引き渡しの予定です。改造部分は2～4階の旧開架閲覧室をカーペット敷き開架閲覧室に、旧館長室を国連閲覧室に、旧事務室は閉架書庫に、3階視聴覚室、参考図書室及び目録ホールがグループ学習室及びグループ視聴覚室に改造されます。

改造工事期間中、学生用書架の不足から、5階の閉架書庫をこの間学生用の開架閲覧室として開放しなければならず、当分の間先生方にはご迷惑をおかけいたしますが、ご協力のほどお願いいたします。

新図書館の利用案内

建築の検討、立案から度重なる設計会議を経て、当初の予定に遅れること1年有余。待望久しかった図書館の増築工事はこの7月下旬、いくつかの細部の手当を残して竣工しました。増築部分の利用開始を、とにかくこの9月の前期試験に間に合わせる事が念願であったため、これまたいくつかの利用上の懸案事項を残してはいますが、何とか皆さんの利用に供していきたいと考えています。今後、自由な図書館活動を進めるため、利用方法や諸規則を考えてまいります。

また、9月から旧館部分の改築工事が始まり、来春には新館、旧館を合わせた規模の大きな図書館に生まれ変わります。その間、皆さんには引き続きご迷惑をおかけすることになりますが、今しばらくの間、ご理解とご協力のほどお願いいたします。

さて、今号では、特に新館のご紹介と利用についてご案内をいたします。

新館は、旧館部分の改築が終わるまでの臨時的・試験的な利用となる部分が多く、これから改築が終わるまでは、この利用案内のほか、新館の随所に設置する掲示物をご覧ください。

案内板やサイン、書架のフォーマルな表示は、改築が完了し、旧館の利用と合わせて作成しますので、それまでは臨時的案内板、サイン、表示にしたがってください。

〔I〕総合案内

1. 図書の置き方・閲覧室の表示

開架閲覧室は従来のような学部ごとの区分を廃止し、図書分類法(NDC:日本十進分類法)に従って置いています。したがって、学部を指定した閲覧室の表示がなくなり、読みたい図書を置いている閲覧室で学習してください。

2. 5階は来年までの臨時的配架

000~329(総記、哲学、宗教、歴史、政治、法律)を5階に配架しましたが、5階は本来教授閲覧室で、学生の利用は図書の部分だけに限定いたします。改築後、000~329は2階に移動する予定です。この間、5階の利用は学生エリアと教授エリアを区分しています。

3. 学術雑誌は一か所に

学術雑誌は2階に集めました。バックナンバーは製本して閉架に置いています。

4. レファレンス・カウンターから呼出しを

各階で学習中に、図書の利用その他について係員に問い合わせや質問、連絡がある場合には、各階に設置したレファレンス・カウンターの内線電話を利用してください。

5. ラウンジ、喫煙室では静粛に

ラウンジ、喫煙室を数階に設けました。特にラウンジは扉をつけていませんから、大声での談笑などを禁じます。喫煙室以外では禁煙です。

6. エレベーターを使わず、階段を

エレベーターを学生が利用することはできません。身体障害その他の理由でエレベーターを利用したい方は、カウンターに申し出てください。

7. ロッカーは当日限り

玄関にBDS(BOOK DETECTION SYSTEM)を設置しましたので、カバンやコートの閲覧室への持ち込みができます。ロッカーコーナーは2~4階に設置しました。ロッカーはできるだけ使わず、手荷物は各自で管理してください。なお、ロッカーの利用は、当日限りです。

また、ロッカーキーの館外持ち出しを禁じます。キーの破損、紛失の場合は実費弁償をして

いただきます。ロッカーに保管した手荷物の紛失等について図書館は責任を負いません。

〔Ⅱ〕図書・雑誌の配架

(改築が完了するまで)

5 階	教授閲覧室、教授研究個室 和書：000～329 総記、百科事典、哲学、宗教、 歴史、地理、政治、法律
4 階	和書：600～990 産業、商業、交通、芸術、 体育、語学、文学、 別科、Japanese Studies
3 階	和書：330～590 経済、財政、教育、風俗、 国防、自然科学、技術、 工学、家政学
2 階	指定図書、ベストセラーズ 学術雑誌（全分野） 大型美術書、大型地図
1 階	メインカウンター、一般雑誌、A V、 新聞、検索

*「洋書」は改築が終了するまで、閉架図書室に置いています。その間の利用方法は、別途お知らせします。

〔Ⅲ〕1 階 案 内

1. 入 退 館 — 格調ある新玄関 —

入退館は、Ⅱ号館側です。掲示板の前が新装なった正面玄関となります。玄関を挟む大きな2本の柱は、これまでの本学の建物に見られない象徴的なもので、格調ある玄関になりました。

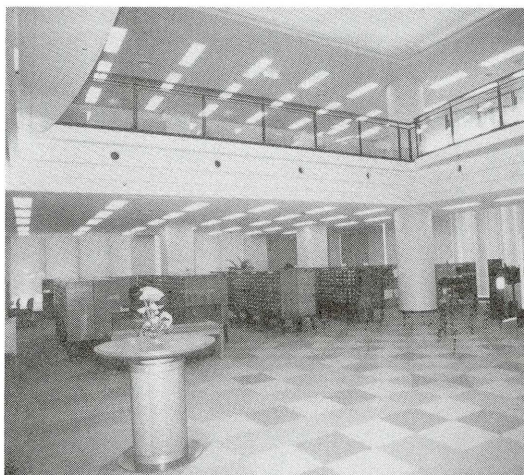
なお、従来の北側玄関からは利用者の皆さんが出入りすることはできません。

2. B D S — カバン、コートもOK —

玄関を入ると、アルミのバーがありますので、その「入」のバーを押して入ってください。入館の際は、入館者数がカウントされます。

なお、この設置に伴い入館の際、これまで求めていた学生証の提示は廃止する予定であり、

またカバンなど携帯品はすべて持参したまま、コートも着用のまま閲覧室に入ることができます。



3. 玄 関 ホ ー ル — 多機能ホール —

玄関ホールには各種のコーナーを設けました。その主なものは次のとおりです。

- ①メインカウンター
- ②レファレンスコーナー
- ③ブラウジングコーナー（一般雑誌）
- ④新聞閲覧コーナー
- ⑤第1参考図書コーナー
- ⑥検索端末コーナー
- ⑦カード目録コーナー
- ⑧A Vコーナー
- ⑨コピーコーナー

①【メインカウンター】

ここでは、図書の帯出・返却、レファレンス、A Vブースなど各設備利用願い、他大学図書館利用願い、その他の問い合わせを受け付けます。

②【レファレンスコーナー】

各種目録や参考図書を揃え、またパソコンによる検索などによって、これまで不十分であったレファレンスを充実させ、皆さんの研究活動の一助になればと思っています。

こういう図書が見たい、こういう用語を説明した辞典が見たい、こういう記事が掲載されている雑誌や新聞のバックナンバーが見たい、こういう法律を適用した判例が見たい、こういう図書を所蔵している大学図書館はあるかを知り

たい、書こうとしている論文の資料を集めたい等々。いろいろなご質問をどしどしお寄せください。

③【ブラウジングコーナー(一般雑誌)】

旧館で2階閲覧室に置いていた一般雑誌を置いています。

④【新聞閲覧コーナー】

新聞台は腰掛け式になりました。過去の新聞や縮刷版の利用は、カウンターにお申し込みください。

⑤【第1参考図書コーナー】

図書や用語、記事の検索・調査は本来自分で行うことが理想的。第1参考図書コーナーには基本的な参考図書や目録を置いています。これ以外の専門的で高度な参考図書は第2参考図書室(閉架)に置いています。利用を希望する場合はカウンターに申し出、係員の指導を受けてください。



⑥【検索端末コーナー】

本学所蔵図書の所在、請求記号、貸し出しの有無を検索します。端末機の利用状況により、2、3、4階にも端末機を設置する計画があります。

⑦【カード目録コーナー】

端末で検索できない場合は、旧来からのカード目録で調べてみてください。

⑧【AVコーナー】

本学図書館としては、新しい設備です。これまでレコード聴取装置が2台ある程度でしたが、増築を機に、CD、LD、VTR、オーディオなどを視聴できるブースを機能別に12席(1人用8台、2人用2台)を設けました。

利用できるCD、VTRなどは、原則として図書館所蔵のもので、目録や別に掲示する案内で調べてください。学生証と引き換えに貸与します。カウンターで利用申し込みをし、指定されたブースを利用できます。

個人が持ち込んだCD、VTRなどは、大学図書館内で視聴しても差し支えないと認められれば、許可することがあります。

⑨【コピーコーナー】

コピーは旧来と同じ要領です。コピーカードをカウンター横の自動販売機で購入し、利用してください。コピーはサイズにかかわらず、1枚20円です。コピーカードは1,000円券(50枚用)と500円券(25枚用)の2種類です。コピーカードの払い戻しはいたしません。

なお、コピーコーナーは3階にも設置しています。利用状況を見て、2階、4階にも設置する方針です。

〔Ⅳ〕2 階 案 内

①【学術雑誌】

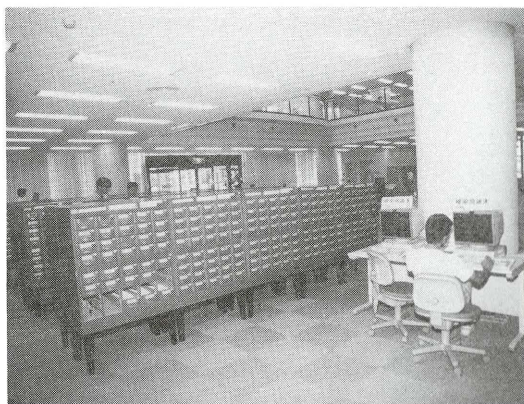
全学部、全分野の学術雑誌は2階に集めました。バックナンバーは製本して閉架に置いています。

②【大型美術書、大型地図】

大型の全集物の美術書や県別などの大型地図を置いています。

③【指定図書、ベストセラーズ、論集】

授業担当教員が指定した図書、ベストセラー、学術研究所発行の論集は新館2階東側(旧館との境)に置いています。



〔V〕3、4、5階案内

①【学部の枠を外し、番号順に配架】

最終的には1～4階を開架閲覧室とし、2～4階に図書を配架します。改築部分の完成までは2階が十分利用できませんので、2階の分は5階へ臨時に配架しました。その配架順序は前述のとおりです。

学部を指定した閲覧室の表示をなくし、全館が利用できることを明確にしました。

②【閲覧室で利用した図書の返却】

閲覧室で利用した図書は、各階に配置している返却台に入れてください。図書館員が元の位置に戻します。

③【夜間の利用は閲覧室を限定】

利用者が少ないときは、夜間利用のための閲覧室を限定させていただきます。係員が館内放送をしますから、それに従ってください。



〔VI〕図書の帯出

①【図書の帯出手続き】

帯出手続きは1階メインカウンターで行います。従来どおり帯出図書と図書利用カードを提示してください。

②【BDS】

図書の無断帯出を防止するため、出入り口にBDSを設置しました。BDSは入館者数をカウントしますが、帯出手続きをしないとカウンターに信号が送られ、「退」のバーが開きません。このほかにもバーが開かない理由があるか

も知れません。カウンターに信号が送られた場合、その原因の調査にご協力いただくことになります。

③【帯出冊数と帯出期間】

帯出冊数と帯出期間は旧来と同じです。

〔VII〕帯出図書の返却

①【図書のみカウンターに】

旧来どおり、図書のみをカウンターに返却し、係員が機械処理をするまで、お待ちください。

〔VIII〕留意事項のまとめ

- ①館内では喫煙室以外は禁煙
- ②館内では飲食厳禁
- ③ラウンジ、喫煙室での会話は小さく
- ④冷暖房完備のため、窓の開閉禁止

〔IX〕そ の 他

1. その他の新館内設備

- ①特別閲覧室（1階）
- ②身体障害者用トイレ（1階）
- ③公衆電話（1階）
- ④マイクロリダープリンター（1階）

グループ学習室、グループ視聴覚室、ワープロ・タイプ室、国連寄託図書館等（EC資料センター、OECD協力資料館）新館などの施設は、改築部分にあたりますから、年末に完成し、利用は、来春になります。

この間の、国連寄託図書館等の利用についてはカウンターにお尋ねください。

図書館の障害！

新館の利用直後に目についたこと

図書館新館（増築部分）の利用を開始して約1カ月になろうとしています。利用開始が前期試験直前であったため、学生諸君の利用状況にもかなり目を覆いたくなるような場面がありました。

1. 開館時は整然と入館できないものか。

座席というものは、次第に愛着が沸き、なじみの座席を確保したいというのは理解できる。しかし、開館時は十分余裕はある訳だからゆっくり、静かに入館してほしい。まるで怒涛のごとく、男子も女子も他人のことは考えず、われ先にというのでは、大学生らしくない。

2. 座席取りは他の利用者が泣いている。

せっかく確保した座席。諸君の気持ちも分か

らないではないが、試験や講義で図書館をでるときは、空席を待っている学友に譲れないものか。お互い様ではないのかな。

3. 雑談・私語は図書館の最大の障害

1階ホールや吹き抜けなどができ、解放感が生まれたからでもあろうが、雑談・私語をする者、名前を呼び交う者等が非常に目につくようになった。図書館は勉強する所、学生ホールや食堂と同じレベルで考えてはいけない。そういう人物は図書館の使命が理解できていない者で図書館を利用するにはどうかと、首を傾けなくなる。とくに1～2階は声がよく響く。他の利用者への心配りを忘れてはいけない。

諸君が静かで落ち着いた環境で勉強したいのなら、その気持ちを他人にも分かるように、自分の行動で示すべきだ。

報 告

《研修・出張》

- ◎福岡県・佐賀県大学図書館協議会
5月13日 小倉・九州厚生年金会館
鶴次長、篠崎課長出席
- ◎第13回EDCセミナー（EC委員会）
5月28～29日 東北大学
古庄司書出席
- ◎目録システム講習会（学術情報センター）
6月8日～12日 九州大学
立石司書出席
- ◎私立大学図書館協会春季西地区部会
6月19日 京都・龍谷大学
鶴次長、篠崎課長出席
- ◎第53回私立大学図書館協会総大会・研究会
7月28日～30日 藤沢・慶應義塾大学
鶴次長、田代課長補佐出席
- ◎九州地区著作権セミナー
9月3日～4日 鹿児島・黎明館
篠崎課長、小嶋司書出席

《図書館委員会》

- 6月29日
- ①図書館増築部分の移動日程について
- ②移動に伴う図書館の休館日について

《本学での研究会》

7月4日

◎九州EC研究会

研究報告(1)

西南学院大学 松隈 潤

『欧州政治統合とマーストリヒト欧州理事会』

研究報告(2)

九州共立大学 中村 靖志

『サッチャー政策の遺産とイギリス経済の将来』

《人事異動》

平成4年7月1日

司書補 村山 有子 文書課に配置

編 集 後 記

図書館増築部分の利用が始まった。正しく有効に活用してほしい。「私たちの英知が深まるにつれ、いよいよいっそう寛大になる」(スター夫人、仏、評論家、1766-1817)

大学図書館での研鑽は学生に英知を与え、大きな人格をもった人物に成長させる方法の一つであろう。大きな人格は、他人に慈悲と愛を与え素晴らしい人物の証しとなる。

もう一度自分を見なおし、図書館で有意義なときを過ごしたまえ。(J)